

人権プラザ特別展「被災地の子どもたち」①

特別展「被災地の子どもたち 作文と記録から見る震災と人権」をみてきました。子どもたちにとって被災体験の酷さを痛感するとともに、それでも明日に向かっていく姿に胸を打たれます。

しかし、多くの日本人が、真に現実を受け止めているのかどうか疑問が大きくなりました。他人事にしていけないだろうか…、という疑問です。この震災は、目の前で人が倒れているのと同じ状況です。目の前で人が倒れているのに、見て見ぬふりをしていないだろうか…。



(↓別件のチラシです。)

震災と人権



～避難所での支援活動からみえる人権問題～

災害は誰の身にも起こりうることであり、その時には「ともに暮らす・ともに支えあう」という意識がより強く求められます。

NPO 法人の一員として被災地で支援活動をした実体験から、障がいのある方が数日間救助から取り残されてしまった例や、高齢者にとって避難所のトイレや風呂場がどれだけ利用しづらいものなのかなど、実際にあった事例をもとにお話します。



NPO法人 レスキューストックヤード
常務理事 浦野 愛氏

講師プロフィール

阪神・淡路大震災では学生ボランティアとして、被災者支援活動に参加。特別養護老人ホーム勤務を経て、現在、災害救援のNPO法人「レスキューストックヤード」の常任理事を務める。新潟・福島豪雨や新潟中越沖地震など全国の被災地で、きめの細かい被災者支援活動を展開（現在は宮城県七ヶ浜町で支援活動中）。他方で、災害時要保護者支援を中心に各種講演や支援プログラムの企画・運営を行っている。社会福祉士。

◆会場◆ すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)ホール
(墨田区東向島2-38-7)「会場案内図」裏面参照

◆日時◆ 平成23年10月28日(金) 18時開場 / 18時半開演

◆入場料・定員◆ 無料(定員200名)

◆手話通訳◆ あり

◆一時保育◆ 事前申込制
一時保育(2歳以上の未就学児対象、定員5名)の利用をご希望の方は、10月21日(金)17時までに電話またはFAXにて下記へお申し込みください。
お申し込みの際に、住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・年齢をお知らせください。

主催: すみだ人権啓発センター 墨田地区人権擁護委員会
共催: 墨田区
後援: 墨田区教育委員会 墨田区社会福祉協議会 墨田区民生委員・児童委員協議会 墨田区手をつなぐ親の会 NPO法人すみだ学習ガーデン 墨田区青年のひろば

お問合せ: 墨田区総務部人権同和・男女共同参画課
電話5608-6322 FAX5608-6596